

灸道湖

第190号

2022年8月



「父島」 1階病棟入院患者 川上光明さん

植物、海の青・緑・白が南国風で、すぐに描いてみたいと思いました。

もくじ

教育研修部コラム“教育研修部の Paradox” 2～3	
NST (Nutrition Support Team, 栄養サポートチーム) 委員会の活動について…… 3	
永年勤続者表彰 …………… 4～5	
ハラスメント研修を実施しました …………… 5	
新人倫理研修の講師を体験して …………… 6	

新人紹介 …………… 6	
院外行事振替院内行事「リモートお買い物」 7～8	
3階病棟行事「国内ツアー～広島へ行こう～」 …… 9	
開業医紹介 …………… 10	
地域医療連携室だより …………… 11	
外来診療表 …………… 12	



～ 教育研修部 コラム ～

“ 教育研修部のParadox ”

呼吸器内科医長・教育研修部長 門脇 徹

「とある人物が精魂込めて一艘の木造船を造った。月日が経つうちに様々な箇所が傷んできたため、その都度傷んだ部材を置き換えていった。すると長い年月を経て全ての部材が新しいものと置き換えられていった。この船の造り手に敬意を評して交換した古い部材（オリジナルの部材）を捨てられずにいた。オリジナルの部材を使って組み立ててみると元の船が出来上がってしまった。形は全く同一の、二艘の船。果たしてどちらをオリジナル、というべきか？」

これは“テセウスの船”という有名な思考実験。同タイトルのドラマが数年前に放映されていたのでワードだけでも聞いたことがある方は多いと思います。それこそ、“どっちなんだい？”の世界。考えれば考えるほどじんわり脳みそが熱くなっちゃいます。例えば中の人が変わってもその組織が維持されているのであれば、結局おんなじなんだなって思うし、誰かがいなくなって形が変わったとしてもそれはそれ。でもね…の堂々巡り。さて皆様の答えは？

かくいう私もとある思考というか問いがずっと頭の片隅にあります。

「教育研修部という教育部門は病院にはない方が良いのではないか？」

え？責任者がそれ言う？どうということ？
皆さんはきっとそう思われることでしょう。

教育研修部は医療スタッフ（特に看護師をターゲット）とした教育部門として機能しています。2011年に発足し、この11月で丸11年走り続けてきたこととなります。個人的には当院にとってなくてはならない組織に成長できた、と自負しています。

でもね、“第三者が教育しなくても全く問題ないレベル”に全ての職員が到達しているならば、また、“教育部門を持たなくても自己研鑽で全てを賄うことができる”のであれば、不要な部門ではないのか？そんなParadoxを思いついてしまってから、この思考（問い）が事あるごとに浮かんできてしまいます。

でもね、医療の進歩を自分一人で追隨して自分のものにしていくのは極めて困難です。スーパーマンならできるかもしれんけど。学会や研究会などの専門家が集って切磋琢磨するものが存在しているのもそのためでしょう？一人ではできんのです。実際に一定規模の医療機関で教育部門を持たないところはないと言ってもいいほどです。まっこれだけ書けば思いついたParadoxの反駁には十分なるわけですけど。それでも、“でもね”と思ってしまうのがこの思考（問い）なわけです。

いつかここでも書きましたが、教育研修部では全てを教えることはできませんし、していません。そんなことはgoalではありません。でも、こちらとして提供したいことがあったとしても、様々なlimitationが存在することも事実です。先ほどは「自負」をいう言葉を使いましたが、10年以上やってもまだまだ超えられない壁みたいなものと闘っていたりします。

この原稿を書きながら“Say something”という曲を聴いています。

“I will stumble and fall. I'm still learning to love. Just starting to crawl. (きっと私はつまづいて転んじゃう。今はまだ愛し方を学んでいる。やっとハイハイし始めたところ)”という歌詞が響きます。

組織の中での教育部門の運営というのは結局“テセウスの船”のようなものなのかなあと思ったりする

わけです。できたと思ってもやはりどこかは古くなってきてstumbleしたりfallしたり。そんなことも確かにありました。マストが折れそうになったこともあります。新しくしてまたcrawlし始める。そして結局いつでもstill learningなのかと。。。で、遠ざかって見てもたらおんなじ船なのか違う船なのかはわからなかったりする。変わらない船頭もいれば乗組員は入れ替わりながら船は前進していくんです。ありがたいことにみんなで漕いでくれます。

「ない方がいいんじゃないか？」という自分が勝手につくったParadoxはあくまで理想だなと思いました。でもね、どこかでは目指さないといけないgoalだとそれでも思っています。あれがあるからいいやんか！と

いうのでは自立できない。あくまで学ぶのは自分。自分を磨くのは自分。そう思うのです。

教育研修部(=I)はあなたをどこかに連れてってくれるものではありません。あなたが行きたいどこかに行くときにうまいこと乗ってください。多分行けます。

“I'll be the one. If you want me to.”

とたまにはカッコつけて終わらしましょう。え、ついてないって？(笑)。

最後に。教育研修部は皆様のご健康をお祈りしております。みんな頑張ってください！

NST (Nutrition Support Team, 栄養サポートチーム) 委員会の 活動について

2階病棟看護師長 布施 道代

松江医療センターNST委員会では、医師・栄養士・薬剤師・臨床検査技師・言語聴覚士・摂食嚥下看護認定看護師などの多職種がチームを組み、患者さんの栄養状態を選別して、問題があると判断されれば適切な栄養管理を指導する活動をしています。職種によって患者のアセスメントが少しずつ異なりますが、栄養という共通認識からみんなで患者の栄養管理を考えていく過程を大切にしています。栄養状態の改善は疾患や褥瘡の治療効果、合併症の予防に影響するだけでなく、QOLを高め、在院日数を短くして医療費の抑制にもつながります。

当院の患者さんは、神経・筋疾患や重症心身障がいの方が多く入院されています。疾患の特徴上、食べる機能が低下していく患者さん、食べる意欲が低下した患者さんと、一人ひとり食べられない理由は異なりますが、食形態や捕食の工夫、摂食機能維持訓練の提案、また経管栄養剤を使用する患者さんも良好な栄養状態が維持できるように、栄養剤などの提案も行っています。

食事は、栄養バランスや摂取カロリーだけを考えるのではなく、栄養補給(食べる)は生きることにつながることは周知のとおりです。私たちは栄養を通して患者さんを支える活動を、これからも多職種と連携・協働して行っていきます。

永年勤続者表彰



勤続
20年

副薬剤部長
山足敏昭

この度は永年勤続 20 年表彰をしていただき、ありが

とうございました。

国立下関病院で入局し、早いもので 20 年経ちました。多くの上司、先輩、同僚の先生方に支えていただき、最近では部下に迷惑をかけながら業務を行っています。4 月からは新たに治験業務を担当することになり、まだまだ至らない点が多いと思いますが、これからも初心を忘れずに、医療に貢献できるよう頑張っ



勤続
20年

主任調理師
山下史郎

この度は、永年勤続 20 年の表彰をしていただき、ありが

とうございました。

栄養管理室に携わるスタッフの方々あっての、本日まで勤務できました事、感謝しております。

私は高校で調理師免許を取得し、京都のホテルに就職しまして、その後松江に U ターンして現在に至ります。

食べるということは、生活する上で楽しみの一つではないでしょうか。

入院中の患者様に少しでも喜んで頂けるよう、盛り付けや彩りなど、ちょっとした工夫と安全を心がけて、これからも勤めていきたいと思っております。



勤続
20年

細菌主任
西井千恵

この度は永年勤続表彰をしていただき誠にありが

とうございます。

これまでさまざまな経験をさせていただきました。その間、良き先輩方に恵まれ、同僚や後輩達に支えて頂いたおかげで 20 年間無事に勤めることができたこと大変感謝しています。

今まで出会った人たちとの絆とこれからの新しい出会いを大切にしながら、今後も努力を重ねていきたいと思



勤続
20年

副看護師長
福田美津子

この度は永年勤続 20 年の表彰をしていただきありが

とうございました。この 20 年間で、たくさんの方との出会いがあり、支えてもらうことで、看護師としても、人としても成長できたように思います。しかし、まだまだ知識や経験が足りないと感じております。感謝の気持ちを忘れず、今後も引き続き努力を重ねていきたいと思

勤続
20年



看護師
須田友香

この度は永年勤続 20 年の表彰をいただきありがとうございました。

職員の皆さん、患者さん、家族と周りの方々の支えがあり、今日まで勤務を続けられました。

今後も皆さんに迷惑をかけることが多々あると思いますが、初心の気持ちを忘れずに努力していきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



ハラスメント研修を実施しました

庶務班長 森谷 伸明

ASTER-A(アステラ)代表の中澤博之先生を講師に招き、「職場でのハラスメント防止に向けて」という内容で全職員が参加しやすいように令和4年4月18日から令和4年6月16日まで間に全8回ご講演をいただきました。

セクシャルハラスメント・マタニティハラスメント・パワーハラスメントについての基本的な知識など詳しくご説明いただきました。パワハラは心身の健康を害し、職場環境の悪化にもつながります。しかし、セクハラやパワハラが起こると、被害者はもちろんこと周囲の人々にも不快感を与え、職場全体の雰囲気が悪くなってしまいます。

当院は、今後とも常に職場内におけるハラスメント防止への意識の向上、また働きやすい職場環境の維持に努めて参ります。



新人倫理研修の講師を体験して

看護部 老人看護専門看護師 山根 裕子



4月27日、島根県看護協会では施設合同新人看護職員研修「職務と看護倫理」の講師をさせていただきました。18施設から51名の参加があり、隠岐からもZOOMで参加して頂きました。前半は「看護職の倫理綱領」や「倫理原則」など、看護に必要な倫理的視点について講義をいたしました。今回の講義では、これからより重要となってくるSDGs（持続可能な開発目標）と看護の取り組みについて、「私たち看護師に何が求められるか」「今看護でどのような取り組みがされているか」といったことも含め学んでもらいました。後半は身近な事例を通し、倫理原則や倫理綱領と照らし合わせて情報を整理しました。自分たちに何ができるか、講義で学んだ倫理的視点や態度をどのように実践に活かしていくのかグループワークを通して一緒に考え学びました。隠岐からはZOOMでの参加でしたが、活発な意見交換ができ、会場での発表もして頂くことができました。

3時間という長時間の研修でしたが、新人看護師たちの「学んだ倫理的視点や態度を実践に活かしていこう」という真剣な様子から、私自身も初心にもどり、現場での倫理的課題に向き合っていこうと思えました。講義でもお話ししましたが、その組織に所属している期間が長くなるほど慣れから「何か変だな」という倫理的感受性（アンテナ）は低くなってしまいがちです。新人看護師たちの感じるモヤモヤ・大切な気づきを看護チームで共有し、患者さんへのより良いケアへ繋げていきたいと思えます。

新

人

紹

介

3階病棟看護師 足立 美月



私は令和4年4月から松江医療センターに入職し、3階病棟で看護師として働いています。3階病棟は重症心身障がい児者病棟です。重症心身障がい児者の看護は、一般病棟とは異なり患者さんとのコミュニケーションがとり辛く、入職当初は戸惑いや困ったことがありました。3階病棟の患者さんは、文字盤などのコミュニケーションツールだけではなく、表情の変化や舌・指の動きなどの非言語的コミュニケーションを用いてコミュニケーションを図ることが多いからです。また、自ら訴えることが難しい患者さんもおられるので、看護師は患者さんの訴えや希望を汲み取る洞察力や観察力を必要とします。

私は先輩看護師からアドバイスを頂く中で、患者さんの好きなことや思いを尊重した関わりを行っています。また、普段と違う様子や日常生活を知ることで、患者さんの安全・安楽な療養生活に繋がる看護を提供できる様に毎日頑張っています。そして、患者さん自身を知るだけでなく、患者さんに私自身のことを知ってもらうことで信頼関係にも繋がると思っています。積極的に声を掛けるようにしています。少しずつではありますが、先輩看護師の患者さんへの声掛けや看護を学びながら患者さんがその人らしく療養生活を送れるように看護を行っていききたいと思います。

事務部 企画課契約係

藤森 優衣



私は、この春から松江医療センターで事務職員として働き始めました。私は生まれてからずっと松江で育ってきたので、松江医療センターに配属されとても嬉しかったです。病院という慣れない環境で、初めてのことばかりで戸惑うことも多いですが、様々な方の支えのおかげで業務に取り組んでいます。早く一人前になれるよう精一杯努力していきます。

私が病院の事務で働こうと考えた理由は、コロナ禍で逼迫する医療現場の力になりたいと思ったからです。私は医療に関する専門的な知識はありませんが、そんな私でも病院の事務として病院運営に関わることで、医療現場で働く方々の力になれます。また、そうした医師や看護師、コメディカルの方々が安心して患者さんと接することができるような環境を事務職員が作ることで、患者さんが安心して利用できる病院にもなります。直接顔を合わせることは少ないですが、私の仕事が患者さんにも影響することをと心に留めて、患者さんが過ごしやすい病院になれるよう、私のできる範囲からやっていききたいと思います。

院外行事振替院内行事

「リモートお買い物」

保育士（医療保育専門士） 越野 幸子



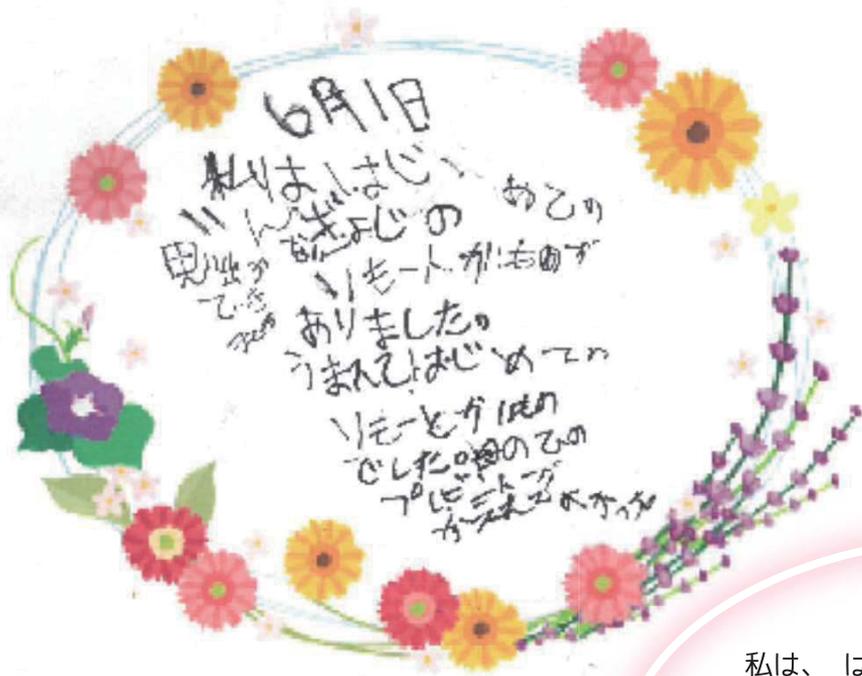
撮影させて頂いて、商品を選んでいただいていたものもあり…お目当ての商品をサクサクとお買い物することができました。「これ、かわいい」「色違いもありますよ」「それ、いくらですか?」「もう1回さっきのを見たいです」など、病院とお店をリモートでつないでのお買い物でしたが、まるで本当に現地でお買い物をして



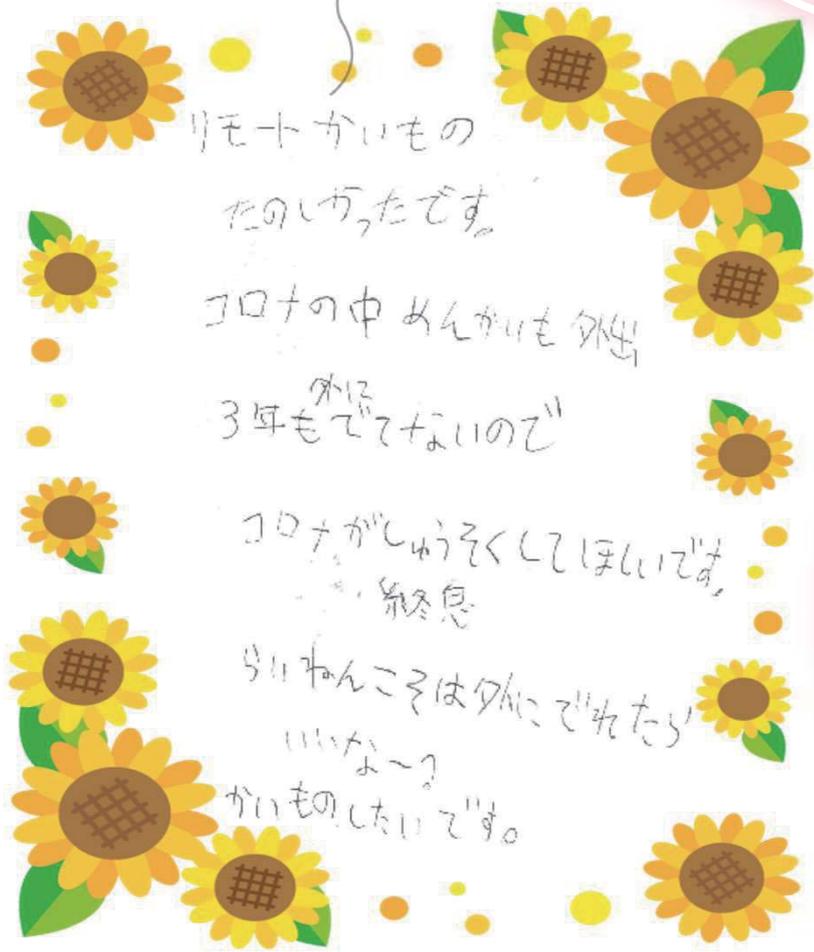
いるような盛り上がりで、2時間があっという間に過ぎていきました。コロナ禍でなければ、本当はもっともっとお買い物を楽しみたいところでしたが、行事を通して良い気分転換になったのではないのでしょうか。



～患者さんの感想～



6月1日
 私は、 はじめてのいなぎょうじの
 リモートかいものがありました。
 うまれてはじめての、 リモートかいものでした。
 母のひのプレゼントがかえてよかった
 思い出ができました
 (F・Kさんより)



リモートかいもの
 たのしかったです。
 コロナの中めんかいも外出
 3年も外にでてないので
 コロナが収束してほしいです。
 らいねんこそは外にでれたら
 いいな～。
 かいものしたいです。
 (Y・Mさんより)

3階病棟行事「国内ツアー

～広島へ行こう～」

児童指導員 安達 浩史



広島平和公園「広島フラワーフェスティバル会場」に到着すると、カープ女子？による元気な出迎えがあり、生花や手作りの花で飾った会場に到着し、広島名物の「お土産探しゲーム」を行いました。「あーあった～」「こんな名物があったんだね！」など会話しながら、旅気分を味わいました。

そして、匂いや音などのクイズを3問行った後、広島フラワーフェスティバルのモニュメント『花の塔』に手作りの花を飾って、塔を完成させました。最後は西城秀樹の「YMCA」を映像とともに全員で歌い大盛り上がりでした。



をしています、この曲を歌い元気を出し、楽しいひと時を過ごすことができました。

5月24日(火)、6月16日(木)の両日、院内行事(院外振替行事)国内ツアーの第2弾、『広島へ行こう』を行いました。今回はバスに乗って旅行の気分を味わい、広島に触れる体験を、各回患者さん6名と職員で行いました。

まずは、手作りの観光バスに乗車し、「鞆の浦」、「尾道」などの観光名所をバスガイドの紹介と車窓からの風景を写真で楽しみました。目的地、



「YMCA」は若者たちへの応援歌でもあります。出口の見えないコロナ禍でみんな大変な思い



開業医紹介コーナー

病病・病診連携 No.37 清水医院内科循環器科

井上 優美 先生



医療センターの先生方、職員の皆様にはいつも大変お世話になっております。

昭和 54 年から古志原で父が清水外科脳外科医院を開業しておりました。その父が高齢になり体調を崩し、毎日の診療が難しくなり始めた平成 16 年からこの医院で内科診療を始めました。子育て、介護をしながらの仕事は大変な時期もありましたが近隣の先生方や家族にも助けてもらいながら続けて来られました。父が引退した平成 29 年に医院名を現在のものに改め建物も少しリフォームして、心エコーを中心とした循環器内科の診療を行っております。

松江医療センターは呼吸器、神経内科の専門病院として患者さんから紹介を希望されることも多くあります。今後ともよろしくお願いたします。



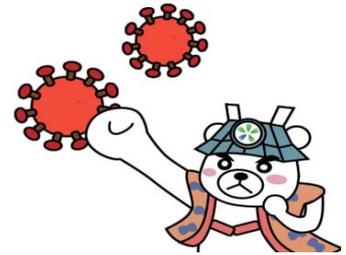
地域医療連携室だより第47号

2022年7月

呼吸器疾患で緊急にご紹介いただく患者さまにつきましては**24時間対応**させていただきます。

夜間・休日に関わらず下記にご連絡ください。

☎ 0852-21-6131(代表) または
0852-24-7671(地域医療連携室)



松江医療センターでは、健康啓発を目的としてスタッフによる出前講座を無料で行っています。皆様の職場、学校、公民館などに出向き、各分野の専門性を活かして医師、認定看護師、コメディカルが講演いたします。

松江医療センターのホームページにアップしています。令和4年度の講演に**新しい項目**が追加になりました。

- ・ 神経難病について
- ・ 慢性頭痛のいろいろ
- ・ 片頭痛新たな治療法
- ・ 進行性核上性麻痺

上記テーマについて脳神経内科医が60分で講演いたします。

希望がございましたら

お気軽に地域医療連携室までご連絡をください。

外来診療表

お気軽にご相談下さい

令和4年7月1日現在

診療科	曜日	月	火	水	木	金	専門領域
呼吸器内科		岩本(初)	西川(初)	木村(初)	門脇(初)	池田(初)	【呼吸器内科】 井岸 正 池田 敏和 小林賀奈子 木村 雅広 門脇 徹 岩本 信一 西川恵美子 坪内 佑介 【院長】呼吸器一般 【統括診療部長】呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般
		西川	小林	岩本		木村	
		井岸	門脇	池田	坪内	小林	
循環器内科						生馬	【循環器内科】 生馬 勲 循環器一般
脳神経内科		中島 (完全予約制)	古和	深田	足立	交替制	【脳神経内科】 中島 健二 古和 久典 足立 芳樹 中野 俊也 細田 義人 下山 良二 深田 育代 【名誉院長】脳神経内科 (完全予約制) 【副院長】脳神経内科 【臨床研究部長】脳神経内科 【診療部長】脳神経内科 脳神経内科・リハビリテーション 脳神経内科 脳神経内科
		中野	下山		細田		
呼吸器外科		荒木		目次		荒木	【診療部長】呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科
消化器内科		法正					【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 松村 涉 前垣 義弘 重症心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害
小児科	発達 専門外来	久保田 (予約)	齋田 (予約)	齋田 松村 (予約)	久保田 前垣 (第2木曜のみ) (予約)	齋田 (予約)	【呼吸器外科】 荒木 邦夫 目次 裕之
	予防接種		(予約)				【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 松村 涉 前垣 義弘
麻酔科	腰痛外来			西村 (予約)			【麻酔科】 西村友紀子 麻酔科領域
特	肺がん検診	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	【消化器内科】 法正 恵子 消化器内科領域
	睡眠時無 呼吸外来				呼吸器内科 担当医(予約)		
殊	息切れ 外来		呼吸器内科 池田(予約)				【消化器内科】 法正 恵子 消化器内科領域
	喘息 アレルギー外来					池田 (予約)	
外	咳嗽外来					池田 (予約)	診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30 自動再来受付 8:00~11:30 独立行政法人 松江医療センター 国立病院機構 呼吸器病センター 〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号 電話 (0852) 21-6131(代) 医療連携室直通電話 (0852) 24-7671 医療連携室 F A X (0852) 24-7661
	禁煙外来				毎週木曜日 呼吸器内科 担当医(予約)		
来	アスベスト 外来		(予約)	(予約)	(予約)		
	もの忘れ外来			深田			
その他	セカンド オピニオン外来	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	

特 殊 外 来	肺がん検診	診療日：毎週月～金曜日 15:00～17:00 (要予約) 内容と特色：ヘリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。料金5,500円
	睡眠時無呼吸外来	診療日：毎週木曜日 14:00～16:00 (要予約) 内容と特色：いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
	息切れ外来	診療日：毎週火曜日 13:00～15:00 (要予約) 内容と特色：息切れの診断と治療を行います。
	喘息アレルギー外来	診療日：毎週金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：成人気管支喘息、花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
	慢性咳嗽外来	診療日：毎週金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：3週間以上長引く咳(せき)や喉の異常感でお悩みの方。
	禁煙外来	診療日：毎週木曜日 10:00～12:00 (要予約) 内容と特色：禁煙を希望される方の検査、診断と相談に応じます。
	アスベスト外来	診療日：毎週火・水・木曜日 8:30～11:00 (要予約) 内容と特色：石綿(アスベスト)曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行います。
	神経難病外来	診療日：毎週火・木曜日 9:00～12:00 神経難病外来
	もの忘れ外来	診療日：毎週水曜日 9:00～12:00 内容と特色：もの忘れの診断と治療を行います。
	小児科発達 専門外来	診療日：毎週月～金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：ことばや運動の発達の遅れ、低身長などの発育の異常、ひきつけなどの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかデイケアでの遊戯療法も行っています。
腰痛外来	診療日：毎週水曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：主にぎっくり腰などの痛みの治療を行っています。薬物療法や神経ブロックなどで痛みの緩和を目指します。	
セカンド オピニオン外来	診療日：(完全予約制) 紹介状が必要です。 内容と特色：呼吸器・呼吸器外科・脳神経内科・小児科(筋ジストロフィー)の専門医(医長)が担当いたします。	